

落合直文 おちあいのちかぢ 國文學者、歌人。文久元年十一月十五日陸奥國熊本
 吉郡生れ、明治二十六年十一月十六日没（六二—一九〇三）。舊姓鮎貝、
 幼名龜次郎、初名鮎貝盛光。號櫻舍、源直文、秋のやのあらし、秋の
 家、秋の家のあるじ、秋の家の人、秋の家主人、秋の舎、秋之家、
 秋巴道人、秋庭家主人、秋全等。國學者落合直文の養子となる。明治
 十五年東京大學古典講習科に入學。のち皇典講究所、國語館、國語
 學院等で教鞭を執る。この間（一九〇六年）淡香社を創し、二十年新詩會
 に參劃。鮎貝槐園の貴兄。

著書 『外交』（合著、明治二十二年十月）二十日博文館）、『中等日本
 文典』（小中村義象共著、明治二十二年十一月五日博文館）、『家庭
 歴史讀本』（同、第一編—梶野の嵐、明治二十四年一月）二十一日、
 第二編—如意輪堂、四月）二十五日、第四編—鳥羽の戀家
 館の血烟、九月）二十四

日、第五編—青葉の笛 青葉の笛、十月十九日、第七編—御船の浪、二十五
 年一月）二十五日、第八編—菊の下氷、二月）二十日、第九編—各古會
 屋島浦、五月）二十一日、第十編—關城の月 關城の月、七月十一日、第十一編—
 尋ねぬ蟲 尋ねぬ蟲、八月十六日、第十二編—玉の御聲、十月五日博文館）、『中
 等國文軌範』（編、明治二十五年八月一日博文館）、『新撰日本外史

一 名世々の跡』全十一冊（小中村義象合著、第一編—御矛の雪、明
 治二十五年十月）二十八日、第二編—大和錦、十一月十七日、第三編—
 唐錦、十二月十七日、第四編—藤の下蔭、二十六年二月）二十五日、第五編—

一 躑躅の咲分け、三月十一日、第六編—星月夜、
 五月）三十一日、第七編—吉野櫻、七月六日、第八
 編—北山時雨、八月六日、第九編—桃山の春、十



一 躑躅の咲分け、三月十一日、第六編—星月夜、
 五月）三十一日、第七編—吉野櫻、七月六日、第八
 編—北山時雨、八月六日、第九編—桃山の春、十

- 二月二十一日、第拾壹編—江戸紫・二七七年一月二十三日、第拾貳編
 一子代田の宮・二月一日博文館）、『國文評釋』（第一編・明治二十
 五年十一月五日、第二編・十一月六日、第二編・二十六日、第四編・
 二十六年二月十八日、第五編・六月十五日博文館）、『日本史學新說』
 （合著・廣池千九郎監修、明治二十五年十一月十一日史學普及雜誌
 社）、『皇行陛下の御聖德
 本邦書道大意合本（婦女鑑）』（關根正直合著、明治二十
 六年五月十日女學通信會）、『騎馬旅行』（明治二十六年六月二十
 九日國語傳習所）、『幼年立志編』（合著・坂下龜太郎編、明治二十
 七年二月十七日博文館）、『日本大文典』（第一編・明治二十七年七
 月十日居成鮎貝房之進刊・博文館發賣、第二編一訂止再版・二十九年一
 月五日明治書院刊・博文館發賣、第三編・四月九日三樹宣藏實之進刊・博
 文館發賣）、『大鏡詳解』全四冊（小中村義象合著、花一訂止再版・
 明治二十九年十一月十五日、鳥一再版・九月九日、風・六月十七日、
 月・八月十四日明治書院）、『高嶺の雪』（明治二十九年九月二十五
 日明治書院）、新體詩集『この花』（内題「このはな」合著・新詩會編、
 明治二十年二月十一日同文館）、『山紫水明』（合著・研學會編、明
 治二十年五月二十五日陸軍受驗講義録編輯所「研學叢書」）、『日本
 大文典』（明治二十年八月十五日這政實之進博文館）、『無聲稿
 鳴』（合著・岩崎英重編、明治二十一年五月二十八日興雲閣）、『
 とほの泉』全五冊（卷壹・明治二十一年七月四日、卷貳・二十一日、
 卷參・十月四日、卷四・十一月二十五日、首卷・二十二年五月二十日
 大倉書店）、『新編波名遣』（明治二十一年七月二十一日明治書院・
 阪市圖書店）、『秋聲白露』（合著・研學會編、明治二十一年十一月

- 『二十九日研學會「研學叢書」』、 『大辭典』(こぼり京) (合本・明治二十一年六月五日大倉書店)、 『少年訓』(第壹集) (合著・山縣梯二郎編、明治二十二年八月十九日内外出版協會)、 『女子消怠雁のゆきお』(全一冊) (小野繁堂著、明治二十三年七月九日大倉書店版部書舖)、 『創作苦心談』 (合著・新聲社編、明治二十四年二月五日新聲社)、 『名文評釋』 (合著・國學院編、明治二十四年五月四日博文館)、 『くまの文』 (内題「草笛」合著・柴苑會編、明治二十四年九月二十八日大倉書店)、 『校註古今和歌集』 (增田十信共校訂標註、明治二十五年五月五日高岡書店)、 『校註後撰和歌集』 (同、明治二十五年五月五日高岡書店)、 『國書辭典』 (明治二十五年十一月十日大倉書店)、 『國文學史教科書』 (内海弘藏共著、明治二十六年二月二十日明治書院)、 『秋之家遺稿』 (明治二十七年五月五日落合直幸刊)、 『秋之家歌集』 (明治二十九年六月一日、改版、大正二年九月二十四日明治書院)、 『落合直文集』 (昭和二年十一月七日明治書院) 等。
- 文獻 『落合直氏編 中華國文讀本 參考書』 (明治書院編輯部編、第四集・明治二十一年七月二十日、第二集・十月二十一日明治書院・阪市岡平助刊)、 『落合直氏編 中華國文讀本 辭解』 (洗心齋助編、第一・明治二十二年十一月四日、第二・二月九日鈴木寛一刊、新聲社)、 矢吹弘史著 『落合直文集』 (昭和十八年八月十日同文館出版部) 等。

